

連日暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？外には長時間いない、早めに水分補給をする、十分な食事、睡眠をとる等、熱中症、夏バテ防止に役立つことを心掛け、体調管理に留意しましょう。



医療環境論のグループセッション(発表)を行いました。

6月30日(金)に医学科3年生と保健学科看護学専攻2年生との多職種連携講義である医療環境論のグループセッション(発表)を行いました。2週間前の講義からグループ課題に取り組み、発表の準備を行いました。奇数班は、「人工知能(AI)による医療環境、保健・医療システムの再構築に関わる企画・提案」について、偶数班は、「こどもの医療環境、保健・医療システムの再構築に関わる企画・提案」について取り組みました。班ごとにグループ課題に基づいたテーマを設定し、現状分析・将来予測、課題の抽出、コンセプトの決定、提言あるいは計画案の作成という流れで討論・作業し、報告できる様にまとめました。単にテーマについて調べるだけでなく、具体性・実現可能性のあるオリジナル企画、提案、提言を含み、AIを活用した医療を展開するにはどのような医療環境が必要か、あるいは自らが就労しながら子育てをしていく際にどのような医療環境が必要かを考察することを目的としました。各班とも分かりやすくスライドのまとめ、発表できたのではないかと思います。中には、ドラマ仕立てで寸劇を演じた班もあり、大変盛り上がりました。

医療環境論は唯一の医学科と保健学科との多職種連携講義であり、チーム医療のレッスンにもなったのではないのでしょうか。是非、今回学んだことを将来の臨床現場で活かしてほしいと思います。



「共用試験CBTの試験成績の解析と評価のあり方の検討」に関する講習会に参加しました。

7月4日(火)に公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構主催の「共用試験CBTの試験成績の解析と評価のあり方の検討」に関する講習会に参加しました。主に共用試験CBTに使われている項目反応理論に関する説明が行われました。項目(Item)とは試験を構成する1つ1つの問題のことであり、反応(Response)とは解答状況、つまりその問題に正答するか誤答するかの状況を表現するものです。項目反応理論(Item Response Theory)とは、項目(問題)の特性(識別力、難易度)が判明している場合、その項目に対する反応(解答状況)を用いて、当該試験の結果から測定できる能力を推測するものです。CBTの問題は、項目バンク(大規模な集団に問題を出題して、1問1問の問題の性質を検証し、質の良い問題だけを約2万問集めたもの)からランダムに出題されています。問題の質の良さは、問題の識別力(試験全体の成績と1つ1つの問題の正答率との関連が強いかどうかみる指標)と問題の難しさで決定しています。項目反応理論は、大規模試験の項目作成・実施・評価・運用のための優れた実践モデルとして世界的に定着しています。

1年生を対象とした医学入門でフレッシュマンセミナーを開催しました。

7月25日(火)に1年生を対象としたフレッシュマンセミナーを開催しました。12班に分かれた班別討議では、チュートリアル室にて下記の6つの課題に2班ずつ取り組みました。まず、様々な角度から意見や考えを出し合っ、1つ1つカードに書き、それらを関連項目ごとに分類しました。次に分類された項目間での関係性を考えながら、模造紙に貼っていき、それを元に身振り手振りを交えて、プレゼンテーションを行いました。各班とも時間内に発表をまとめ、分かりやすく発表できたのではないかと思います。今回取り組んだ班別討議の経験を活かして、日常の身の周りの事柄から社会情勢に至るまで幅広い分野にアンテナを張って、色々なテーマについて自分で考え、周囲の人と討論してみる習慣を身に付けてほしいと思います。

【課題一覧】

- ① 大学生になっても健康な食生活を維持するためには？
- ② 地域の医師をどうやって確保するか？
- ③ 医師の勤務先は個人の自由か、配置を誰かが決めるべきか？
- ④ クールビズ、医療現場ではどこまでOKか？
- ⑤ 山口県の魅力とは？
- ⑥ スマホ・SNS等のインターネットモラルを守るには？



さらに、山口県立大学理事長 江里健輔先生に「こんな医師になろう」と題して特別講演を行って頂きました。これから医学を学ぶ上での心構えや医療人としての在り方についてお話頂きました。江里先生の長年の豊富なご経験に基づいたお話は、説得力があり、学生にとって大変有益な内容で、皆、真剣に傾聴していました。講演後、学生から多くの質問もあり、大変盛り上がりました。



4月から始まった医学入門もこのフレッシュマンセミナーをもって無事に終了致しました。ご協力頂きました皆様、有難うございました。来年度もどうぞ宜しくお願い致します。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp